

様式第1-1号
(個人耕作用)

捺印

農地法第3条の規定による許可申請書

令和 2 年 5 月 1 日

南越前町農業委員会長 様

市町農委受付

申請者 譲渡人(貸人)氏名(名称)

南条 太郎

南条 印

譲受人(借人)氏名(名称)

南越前 一郎

南越前 印

下記農地(採草放牧地)について

所有権
 賃借権
 使用貸借による権利
 その他使用収益権()

を

設定(期間 年間)
 移転

したいので、

農地法第3条第1項に規定する許可を申請します。(該当する内容に○を付してください。)

該当するものを囲む

具体的に

記

1 申請者の氏名等	当事者		氏名		年齢	職業	現住所		備考	
		譲渡人(貸人)	南条 太郎		80	無職	福井県南条郡南越前町東大道29-1			
	譲受人(借人)	南越前 一郎		50	農業	福井県南条郡南越前町東大道29-2				
2 許可を受けようとする土地の所在、地番、地目、面積等	所在		地目		面積(m ²)	対価または賃料等の額(10a当たりの額)(円)	所有者の氏名または名称	所有権以外の使用収益権が設定されている場合		
	字	地番	登記簿	現況				権利の種類、内容	権利者の氏名または名称	
	南越前町 東大道	1	1-2	畑	畑	30	〇〇〇円/10a	南条 太郎	—	—
	”	1	2	田	田	1.500	〇〇〇円/10a	南条 太郎	賃借権	南越前 一郎
	”	2	1	田	田	3,000の内 2,000	〇〇〇円/10a	南条 太郎	使用貸借権	今庄 三郎
			以下	余	白					
3 権利を設定し、または移転しようとする契約の内容	(例) 譲渡人…高齢化により労力不足のため経営規模縮小、譲受人…経営規模拡大 権利を設定または移転しようとする時期…許可日、土地の引渡しを受けようとする時期…許可日、契約期間…永年									

(注) 1 申請者の氏名を自署する場合には、押印を省略することができます。

2 競売、民事調停等による単独行為での権利の設定または移転である場合は、当該競売、民事調停等を証する書面を添付してください。

3 記の3は、権利を設定または移転しようとする時期、土地の引渡しを受けようとする時期、契約期間等を記載してください。また、水田裏作の目的に供するための権利を設定しようとする場合は、水田裏作として耕作する時期の始期および終期ならびに当該水田の表作および裏作の作付に係る事業の概要を併せて記載してください。

<農地法第3条第2項第1号関係>

1-1 権利を取得しようとする者またはその世帯員等が所有権等を有する農地および採草放牧地の利用の状況

所 有 地	農地面積 (㎡)	農地面積			採草放牧地 面積(㎡)
		田	畑	樹園地	
自作地	3.000	2.000	1.000		
貸付地	1.900	1.900			
所有地以外の土地	借入地	6.000	4.000		2.000
	貸付地				
	所在・地番	地目		面積(㎡)	状況・理由
		登記簿	現況		
	非耕作地	無し			

(記載要領)

- 「自作地」、「貸付地」および「借入地」には、現に耕作または養畜の事業に供されているものの面積を記載してください。なお、「所有地以外の土地」欄の「貸付地」には、農地法第3条第2項第6号の括弧書きに該当する土地です。
- 「非耕作地」には、現に耕作または養畜の事業に供されていないものについて、筆ごとに面積等を記載するとともに、その状況・理由として、「～であることから条件不利地である」、「賃借人〇〇が〇年間耕作を放棄している」、「～のため〇年間休耕中である」等耕作または養畜の事業に供することができない旨を詳細に記載してください。

1-2 権利を取得しようとする者またはその世帯員等の機械の所有の状況、農作業に従事する者の数等の状況

(1) 作付(予定)作物、作物別の作付面積

	田		畑		樹園地		採草放牧地
	水稲	雑穀	玉ねぎ		柿		
作付(予定)作物	水稲	雑穀	玉ねぎ		柿		
権利取得後の面積(㎡)	9.500	530	500		2.000		

(2) 大農機具または家畜

数量	種類	トラクター	耕うん機	田植機	コンバイン	………
		確保しているもの	所有	1	1	1
導入予定のもの	所有				1	
(資金繰りについて)					自己資金	

(記載要領)

- 「大農機具」とは、トラクター、耕うん機、自走式の田植機、コンバイン等です。「家畜」とは、牛、豚、鶏等です。
- 導入予定のものについては、自己資金、金融機関からの借入れ(融資を受けられることが確実なものに限る。)等資金繰りについても記載してください。

<農地法第3条第2項第4号関係>

2 権利を取得しようとする者またはその世帯員等のその行う耕作または養畜の事業に必要な農作業への従事状況

(「世帯員等」とは、住居および生計を一にする親族ならびに当該親族の行う耕作または養畜の事業に従事するその他の2親等内の親族をいいます。)

- その行う耕作または養畜の事業に必要な農作業へ常時従事している者の氏名 (**南越前 一郎**)
- 年 齢 (**50歳**)
- 主たる職業 (**農業**)
- 権利取得者との関係 (**本人**)
- その者の農作業への従事状況(該当する期間(実績または見込み)を「← →」で示してください。)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
その行う耕作または養畜の事業に必要な農作業の期間			←									→
その者が農作業に常時従事する期間			←									→

(「農作業に常時従事する期間」とは、その期間、必要な農作業(耕うん、播種、施肥、刈取り等)にいつでも従事できる状態にあることをいいます。)

<農地法第3条第2項第5号関係>

3 権利を取得しようとする者またはその世帯員等の権利取得後における経営面積の状況

- 権利取得後において耕作の事業に供する農地の面積の合計
(権利を有する農地の面積+権利を取得しようとする農地の面積) = (**14.430** ㎡)
- 権利取得後において耕作または養畜の事業に供する採草放牧地の面積の合計
(権利を有する採草放牧地の面積+権利を取得しようとする採草放牧地の面積) = (**0** ㎡)

<農地法第3条第2項第7号関係>

4 周辺地域との関係

権利を取得しようとする者またはその世帯員等の権利取得後における耕作または養畜の事業が、権利を設定し、または移転しようとする農地または採草放牧地の周辺の農地または採草放牧地の農業上の利用に及ぼすことが見込まれる影響を以下に記載してください。

(例えば、集落営農や経営体への集積等の取組への支障、農薬の使用方法の違いによる耕作または養畜の事業への支障等について記載してください。)

影響なし
